

令和5年度 入札監視委員会議事概要

航空自衛隊

| | |
|---------|---|
| 開催日及び場所 | 令和5年12月15日（金）福岡第2合同庁舎2階 共用第2・3会議室 |
| 委員 | 牧角 龍憲（大学名誉教授） 松藤 泰典（大学名誉教授） 諏佐 マリ（大学准教授） 柴田 祐二（公認会計士） 徳永 響（弁護士） |

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

| | | |
|--|--|---|
| 審議対象期間 | 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日 | |
| 審議対象件数 | 263件 | |
| 1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について） | | |
| 抽出件数 | 5件 | （審議概要） 1 抽出事案について |
| 一般競争 | 4件 | |
| 指名競争 | 0件 | |
| 随意契約 | 1件 | |
| | 意見・質問 | 回答 |
| ○ 委員からの意見・質問 | 【発注実績について】 特に意見なし | <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎建替えに伴い、仮設プレハブへ事務所を移転するため、飛行管理情報システム（以下「FAD P」という。）を移設するものです。 ・ 入札案内の実施、関係各所への公告の掲示及び開札までの期間を |
| ○ それに対する回答等 | 【抽出事案について】 1 [飛行管理情報システム（FAD P）の移設] （一般競争契約（1者応札）） <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容を説明してください。 ・ 1者応札となった理由を説明してください。 | |

| | 意見・質問 | 回答 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ FADPの移設は、システムを開発した業者しか対応できないのですか。 ・ 予定価格の算定にあたり、原価計算方式を採用したとのことですが、見積書を徴取した業者は1者ですか。 <p>2 [統合気象システムの移設] (一般競争契約 (1者応札))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容を説明してください。 ・ 1者応札となった経緯を説明してください。 ・ 低入札となった経緯を説明してください。 ・ 開発業者の見積書は徴取できなかったのですか。 | <p>確保したものの、入札には至らず、結果、1者応札となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FADPの移設のうち、パソコン及び周辺機器の移設のみであれば、他の業者も参入の余地があると考えられます。しかし、FADPを移設先において運用するうえで、航空関係機関や関係省庁との連携試験があるため、FADPに関する専門的な知識を要することから、開発した業者のみでの応札になったと考えられます。 ・ 参加予定業者が1者だったため、その業者の見積書を参考に、予定価格を算定しました。 <p>・ 庁舎建替えに伴い、仮設プレハブへ事務所を移転するため、統合気象システムを移設するものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合気象システムを開発した業者が入札参加予定でしたが、入札公告に記載した入札締切日時までに入札書が届かなかったため、結果的に1者応札となりました。 ・ 予定価格の算定に際し、統合気象システムの開発業者の見積資料を採用し、予定価格を算定したところ、他の業者が落札したため、低入札となりました。 ・ 入札日の直前に入札に参加することが判明したため、見積書の提出を依頼したものの、業者側の都合により協力を得ることができませんでした。 |

| | 意見・質問 | 回答 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ システムの調達システム開発業者が、以後そのシステムに関連する調達案件を落札するような予定調和を崩す工夫が必要ではないですか。 <p>3 [臨床検査] (一般競争契約 (1者応札))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年行われる役務と考えられますが、入札業者は毎回違うのでしょうか。 ・ 予定価格と比較してかなり安価ですが、役務は問題なく実施できているのでしょうか。 ・ 落札決定が3月31日と年度末ギリギリの決定ですが、その時期になった理由を教えてください。 ・ 予定価格を作成するための参考見積は、1者のみから徴取しているのでしょうか。 <p>4 [松くい虫被害木特別伐倒駆除] (一般競争契約)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 63%と低い落札率となっておりますが、どのようにして問題なく履行できると判断したのですか。 <p>5 [松くい虫特別防除 (空中散布)] (随意契約)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドローンによる空中散布は検討できないのでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 見積依頼及び公告に際し、システム開発業者ありきにならないよう、幅広い周知に努めます。 ・ 過去5年間の実績として同一業者が落札しており、令和4年度の調達では1者応札でした。 ・ 問題なく実施されています。 ・ 3月中に調達要求を受領し、入札を実施した結果、この時期の落札決定となりました。今後、調達要求の実施にあたっては、要求部署と確認を行い、適切な時期を検討したいと思います。 ・ 2者から徴取しています。 ・ 調査基準価格を算出するための規則がないため、調査は行っていません。しかし、口頭により確認し、問題なくできる旨の回答を得たところです。 また、過去にも同じ案件で落札した実績があるため、信頼できるものと考えています。 ・ ドローンを活用した空中散布も検討しましたが、非常に高額なうえに日数もかかり、航空機の運用 |

| | 意見・質問 | 回答 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 空中散布の対応可能な業者は、今のところ落札業者だけのことですが、この業者が空中散布の事業から撤退したら、どのように実施するのですか。 | <p>に支障を与えかねないため、ドローンを活用した空中散布は採用されませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その場合は、ドローンを活用した空中散布も含めて検討したいと考えています。 |

| 2. 談合疑義案件の処理状況について | | |
|---|-----------|--------------|
| 談 合 疑 義 件 数 | 0 件 | (審議概要) なし |
| ○ 委員からの 意見・質問 ○ それに対する 回答等 | 意 見 ・ 質 問 | 回 答 |
| | なし | |
| 委員会による意見の 具申又は勧告の内容 | なし | |